

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

24年12月期 上期 決算説明会

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2024.08.14掲載

2024.08.15説明会開催

I. 24年12月期 上期業績報告	P. 3~17
II. 24年12月期 通期業績見込み	P.18~24
III. 中期経営計画の進捗について	P.25~30
※ 補足資料	P.31~34

I . 24年12月期 上期業績報告

I. 24年12月期の上期業績報告

- 売上高 : チルド商品出荷停止の影響はあるものの海外事業で売上増、対前年 + 0.6%の増収
- 営業利益 : 主に海外事業で利益増、対前年 + 9.7%の増益

II. 24年12月期の通期業績見込み

- 売上高 : 3,360億円 (対前年 + 1.0%、期初計画比▲4.3%)
- 営業利益 : 140億円 (対前年▲24.8%、期初計画比▲26.3%)

III. 中期経営計画の進捗

- チルド商品の出荷再開は順次行っているものの、今期の年平均成長率の目標達成は困難
- 「価値向上」した商品が牽引し、習慣的に喫食いただくための取り組みは進展

■ 経緯

- ・お客様への継続的な価値創出を可能にするバリューチェーン構築と経営の迅速な意思決定を目的に、調達・生産・物流・ファイナンスなどの情報を統合する基幹システムを構築。
- ・2024年4月3日、基幹システムを全面的に移行後、チルド商品を扱う物流センターでピッキング作業に使うハンディターミナルとシステムの連携の不具合により、チルド商品の遅配や欠配が発生、14日に出荷業務を一時停止。
- ・システムの不具合を改修完了、18日に一部再開したものの、物流センターで出荷関連データの不整合等が発生。賞味期限が短く取引頻度が高いチルド商品において、想定を超える受注品目数に対するエラー発生時のデータ修正対応が納期に間に合わず、翌19日から再度出荷停止。

■ 対策

- ・商品の安定的な供給に向けて、データ不整合の改修とシステムの改善を行ったほか、物流センターの業務オペレーションを見直した上で、物流センターにて終日テストを2回実施。
- ・前述の対策を踏まえて、6月下旬以降、段階的にチルド商品の出荷を再開

■ 通期業績への影響見込み

- ・通期：売上高 約▲250億円、営業利益 約▲65億円
- ・上期：売上高 約▲151億円、営業利益 約▲36億円、特別損失 約57億円（引当含む）

※常温や冷凍の商品は、システム移行後も出荷を継続、本障害による業績への影響はありません。

連結業績の概況



- 売上高 : チルド商品出荷停止の影響はあるものの海外事業で売上増、対前年+0.6%の増収
- 営業利益 : 主に海外事業で利益増、対前年+9.7%の増益

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	1,531	1,540	+0.6%
営業利益	80	88	+9.7%
経常利益	102	96	▲5.9%
当期純利益	78	36	▲53.1%
営業利益率	5.3%	5.8%	—

営業利益の状況



(単位：億円)

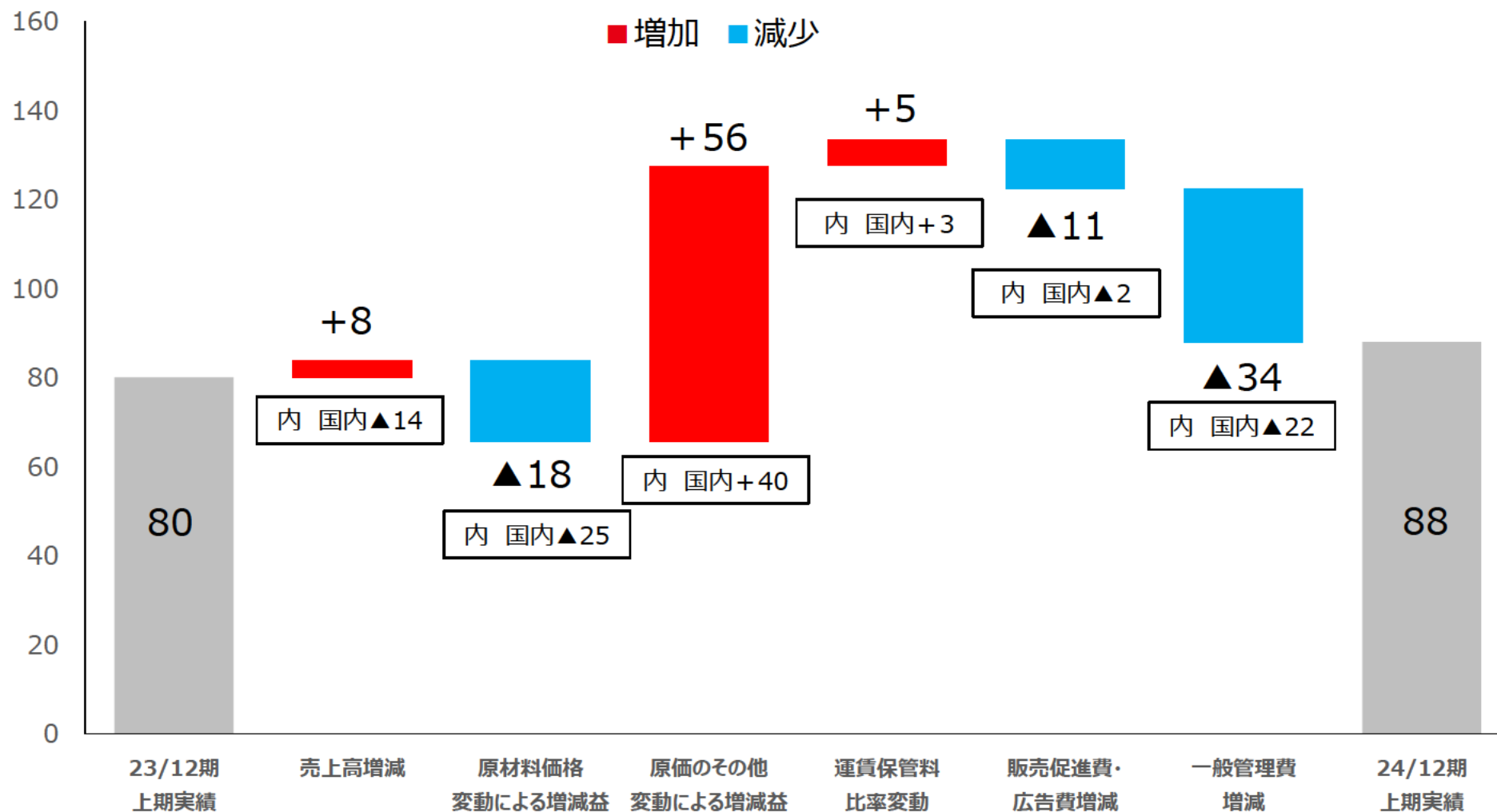
	23年12月期		24年12月期	
	上期実績	売上比	上期実績	売上比
売上高	1,531	100.0%	1,540	100.0%
売上原価	960	62.7%	921	59.8%
売上総利益	570	37.3%	618	40.2%
運賃保管料	124	8.2%	119	7.8%
販売促進費	47	3.1%	49	3.2%
広告費	53	3.5%	62	4.1%
人件費・厚生費	155	10.2%	167	10.9%
経費・償却費	108	7.1%	131	8.5%
販売費及び一般管理費計	489	32.0%	530	34.4%
営業利益	80	5.3%	88	5.8%

営業利益の増減要因



- 国内 : 原価その他変動が増加するものの、売上減や原材料価格、一般管理費の増加により減益
- 海外 : 売上増や原価のその他変動の増加により増益

(単位：億円)



セグメント別売上高の状況



- 国内 : チルド商品を多く含む事業で減収、対前年 ▲4.1%
- 海外 : 主に中国等で増収、対前年 +17.0%

(単位：億円)

	23年12月期		24年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比	
合計	1,531	1,540	+0.6%	
(国内)	1,194	1,145	▲4.1%	
健康・食品事業	218	206	▲5.8%	
乳業事業	323	272	▲15.7%	
栄養菓子事業	285	299	+4.8%	
食品原料事業	62	66	+6.6%	
国内その他事業	303	301	▲0.9%	
海外事業	337	394	+17.0%	

<参考> 換算レート	23年12月期 上期実績	24年12月期 上期実績
中国 (CNY)	1CHY = 19.47円	1CHY = 21.06円
タイ (THB)	1THB = 3.94円	1THB = 4.22円
米国 (USD)	1USD = 135.99円	1USD = 152.31円

セグメント別営業利益の状況



- 国内 : 主に乳業事業の売上減等により、対前年▲33.6%の減益
- 海外 : 主に中国での売上増等により、対前年+150.2%の増益

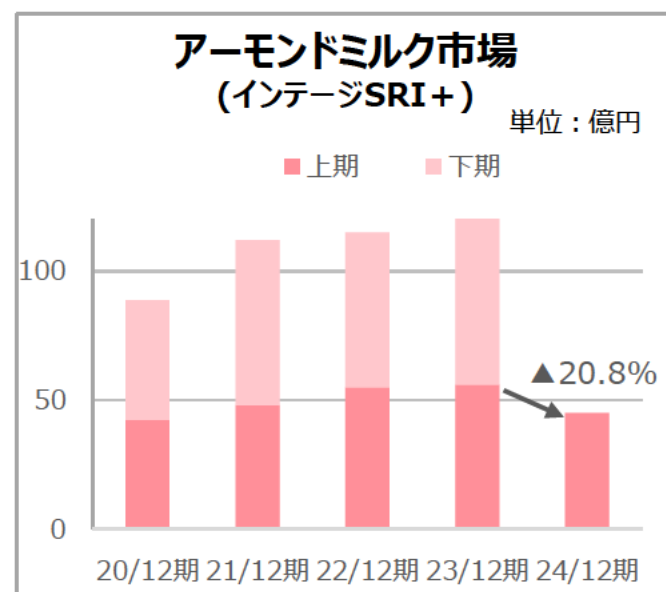
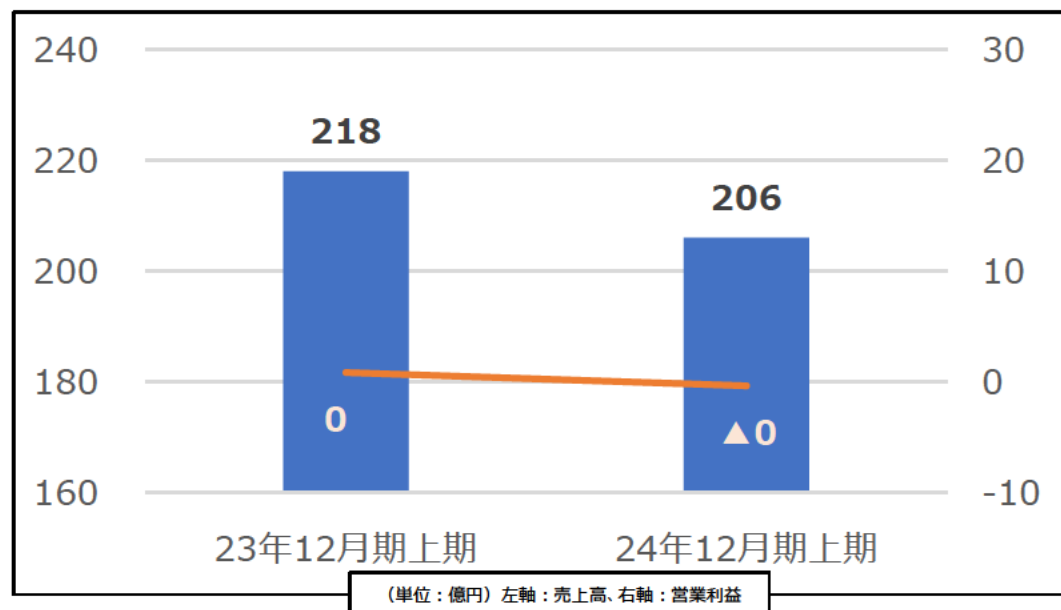
(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
合計	80	88	+9.7%
(国内)	61	41	▲33.6%
健康・食品事業	0	▲0	—
乳業事業	▲2	▲23	—
栄養菓子事業	28	28	+1.6%
食品原料事業	10	9	▲6.0%
国内その他事業	8	2	▲66.7%
調整	16	23	+45.0%
海外事業	19	47	+150.2%

セグメント別：健康・食品事業



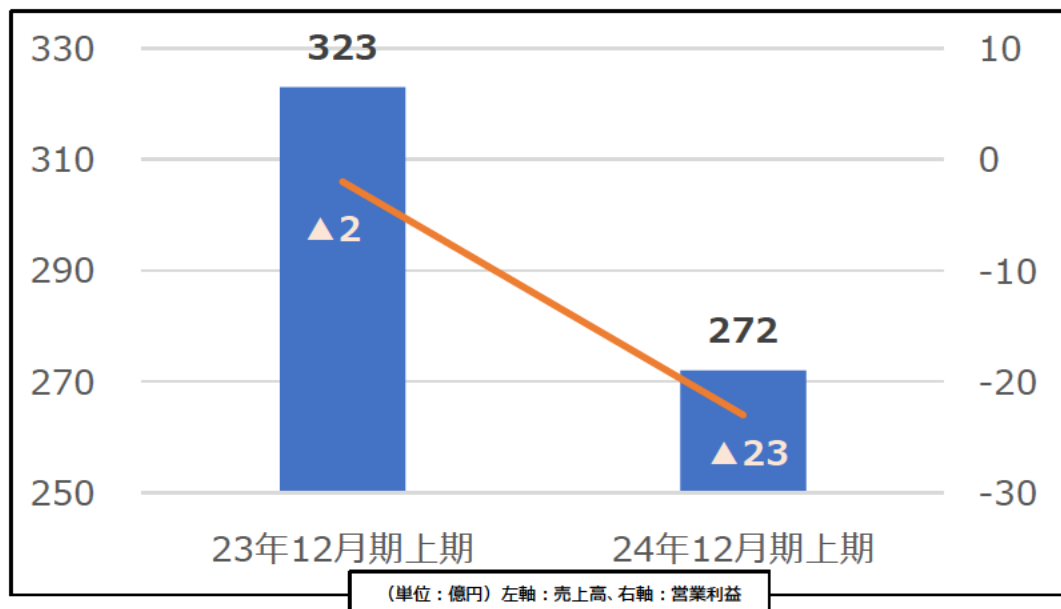
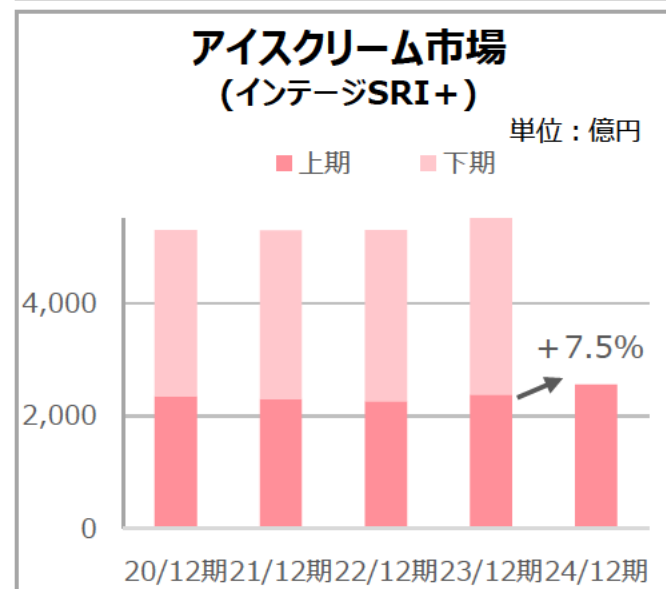
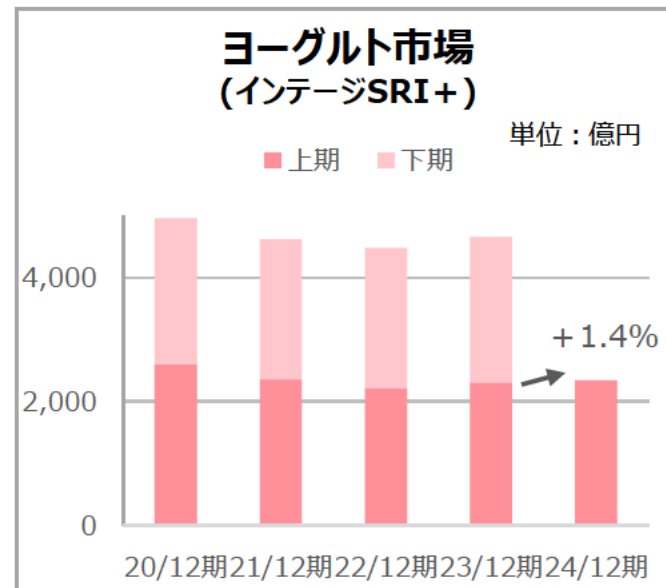
- 健康・食品事業に含まれる主なブランド：
→アーモンド効果、SUNAO、パピコ、アイスの実、DONBURI亭
- セグメント売上高：減収、対前年▲5.8%の206億円
- セグメント利益：減益、対前年▲1.3億円の▲0.4億円
→システム障害によるアーモンド効果の出荷停止が大きく響く
- 商品別：アーモンド効果が減収、パピコ、アイスの実、SUNAOアイスが増収



セグメント別：乳業事業



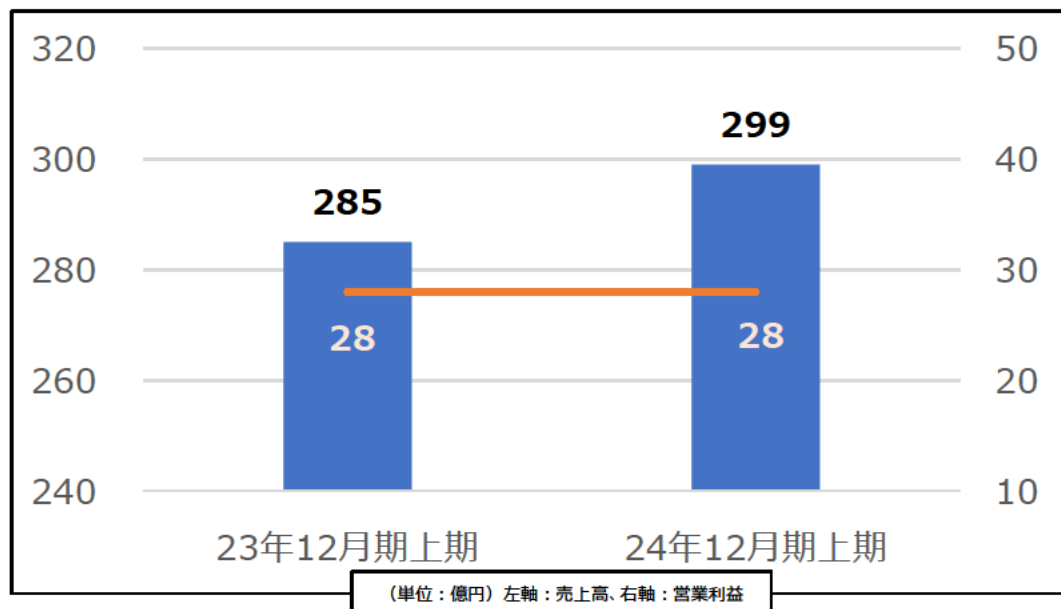
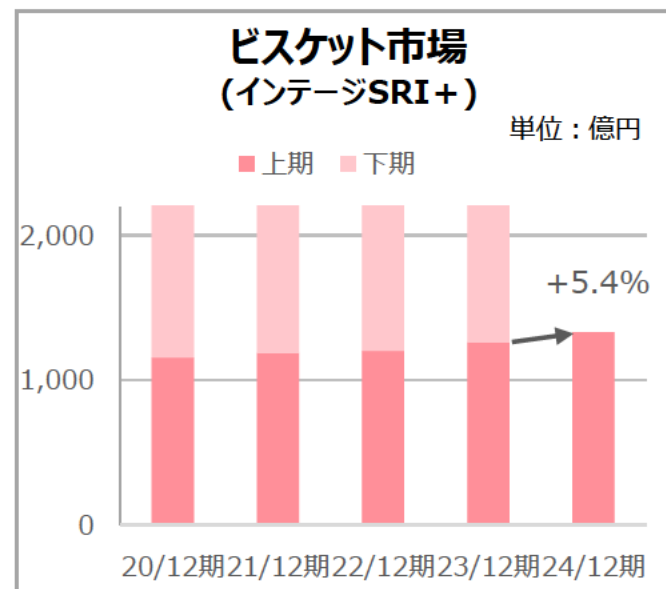
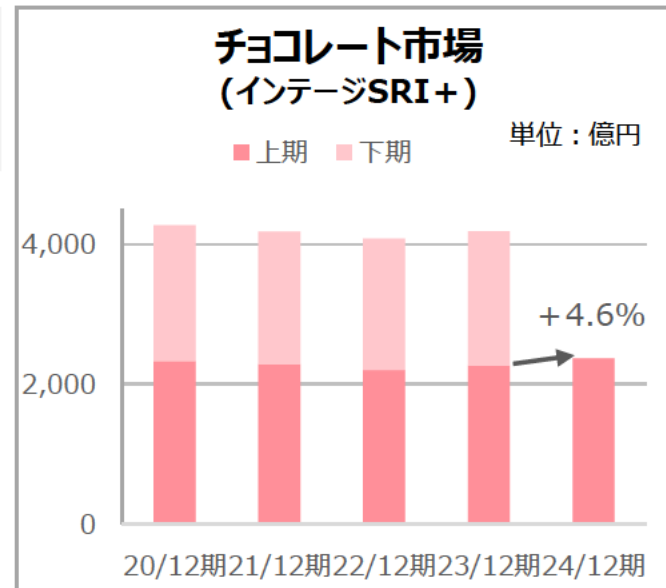
- この事業に含まれる主なブランド：
→BifiXヨーグルト、ジャイアントコーン、セブンティーンアイス、カフェオーレ、プッチンプリン
- セグメント売上高：減収、対前年▲15.7%の272億円
- セグメント利益：減益、対前年▲20億円の▲23億円
→システム障害による発酵乳・乳製品等の出荷停止が大きく響く
- 商品別：ジャイアントコーン、セブンティーンアイス等は増収



セグメント別：栄養菓子事業



- この事業に含まれる主なブランド：
→ポッキー、ビスコ、プリッツ、カプリコ
- セグメント売上高：増収、対前年+4.8%の299億円
- セグメント利益：増益、対前年+1.6%の28億円
→ポッキー・ビスコ等の価値向上商品が好調
- 商品別：ポッキー、ビスコ、プリッツ等が増収



セグメント別：海外事業



◆中国

(単位：百万元)

	23年12月期		24年12月期	
	上期実績	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	694		898	+29.3%
営業利益	56		139	+147.6%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	23年12月期		24年12月期	
	上期実績	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	64		64	▲0.7%
営業利益	▲0		0	-%

◆米国**

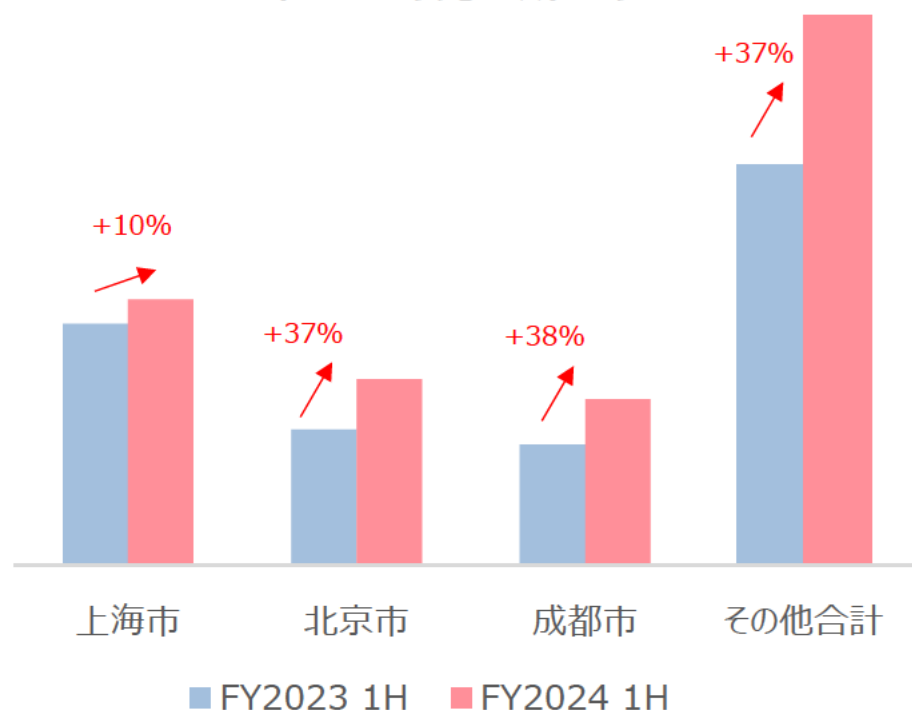
(単位：百万米ドル)

	23年12月期		24年12月期	
	上期実績	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	58		50	▲14.3%
営業利益	9		15	+65.4%

セグメント別：海外事業（中国）

- 市場環境：ビスケット市場規模（オフライン）、対前年▲9.0%
- 売上高：出荷・現地通貨ベースで8億98百万元。対前年+29.3%の増収
- 営業利益：1億39百万元。対前年+147.6%の増益
- 地域別：春節の影響もあり、1・2級都市ならびに好調なチャネル（小店）への拡販で売上が伸長

1・2級都市の売上成長の一例



配荷が好調な小店の陳列例



セグメント別：海外事業（ASEAN）

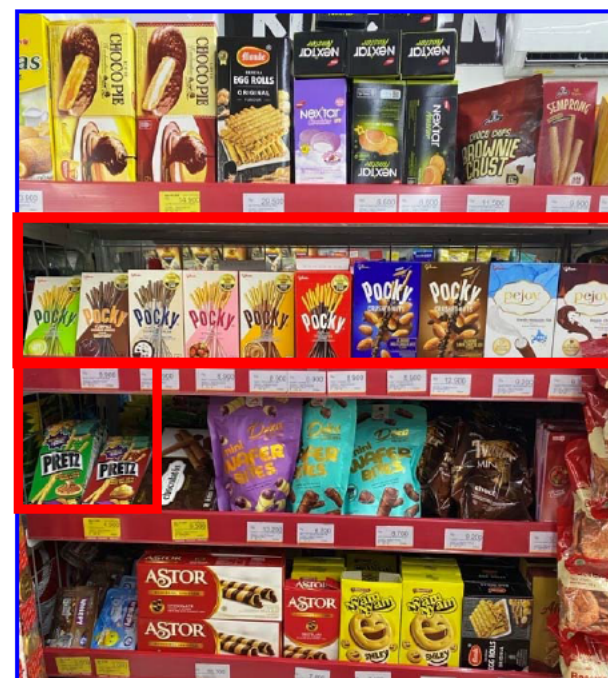


- 市場環境：ビスケット市場、タイは対前年+8.9%、インドネシアは対前年+4.7%
- 売上高：出荷・現地通貨ベース64百万US\$、対前年▲0.7%の減収
1Q：対前年▲11.2%の減収、2Q：対前年+12.5%の増収
- 営業利益：6万US\$、対前年+95万US\$で黒字転換
- 地域別：タイでは、成長は鈍化しているものの、ポッキープレミアムは好調に推移
インドネシアでは、第2四半期に新たな小売店への配荷拡大により、売上が伸長

Pockyプレミアムを展開中（タイ）



新たな小売店に商品を導入（インドネシア）

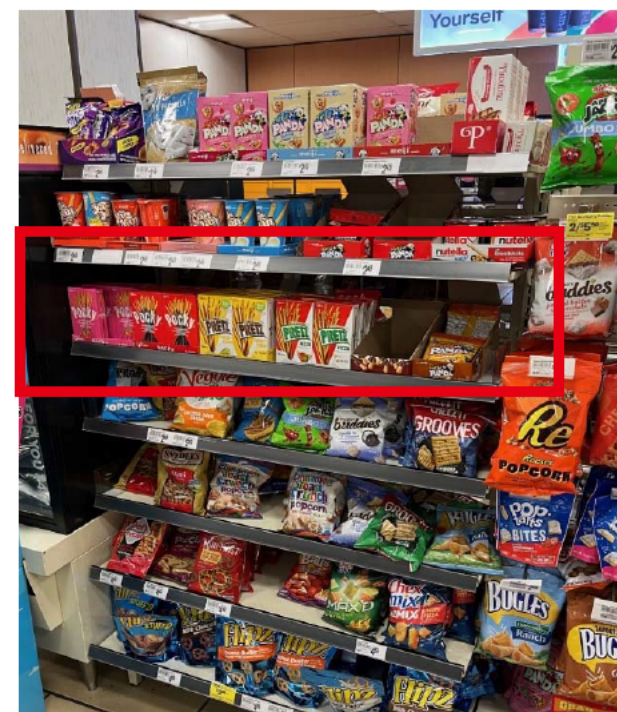


セグメント別：海外事業（米国）



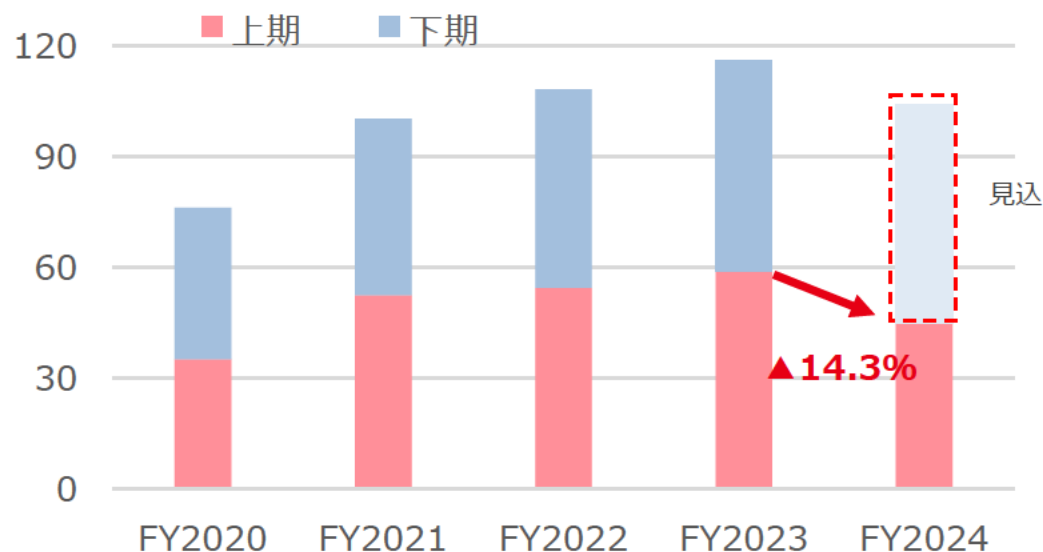
- 市場環境：チョコレート市場、対前年▲0.2%
- 売上高：出荷・現地通貨ベースで50百万US\$、対前年▲14.3%の減収
- 営業利益：15百万US\$、対前年+65.4%の増益
- 商品別：主力のポッキーが減収
- その他：長引くインフレで消費者の節約志向が高まっていることから、売上が減速

厳しい商戦も、店舗における
キャンディ棚は順次拡大中



売上高の推移（上・下期）

(単位：百万\$)



Ⅱ. 24年12月期 通期業績見込み

期初計画と通期見込み



- 売上高 : 3,360億円、対前年+1.0%の増収
- 営業利益 : 140億円、対前年▲24.8%の減益

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	3,325	3,510	3,360	+1.0%	▲4.3%
営業利益	186	190	140	▲24.8%	▲26.3%
経常利益	212	215	160	▲24.8%	▲25.6%
当期純利益	141	150	110	▲22.2%	▲26.7%
営業利益率	5.6%	5.4%	4.2%	—	—

営業利益の見込み



(単位：億円)

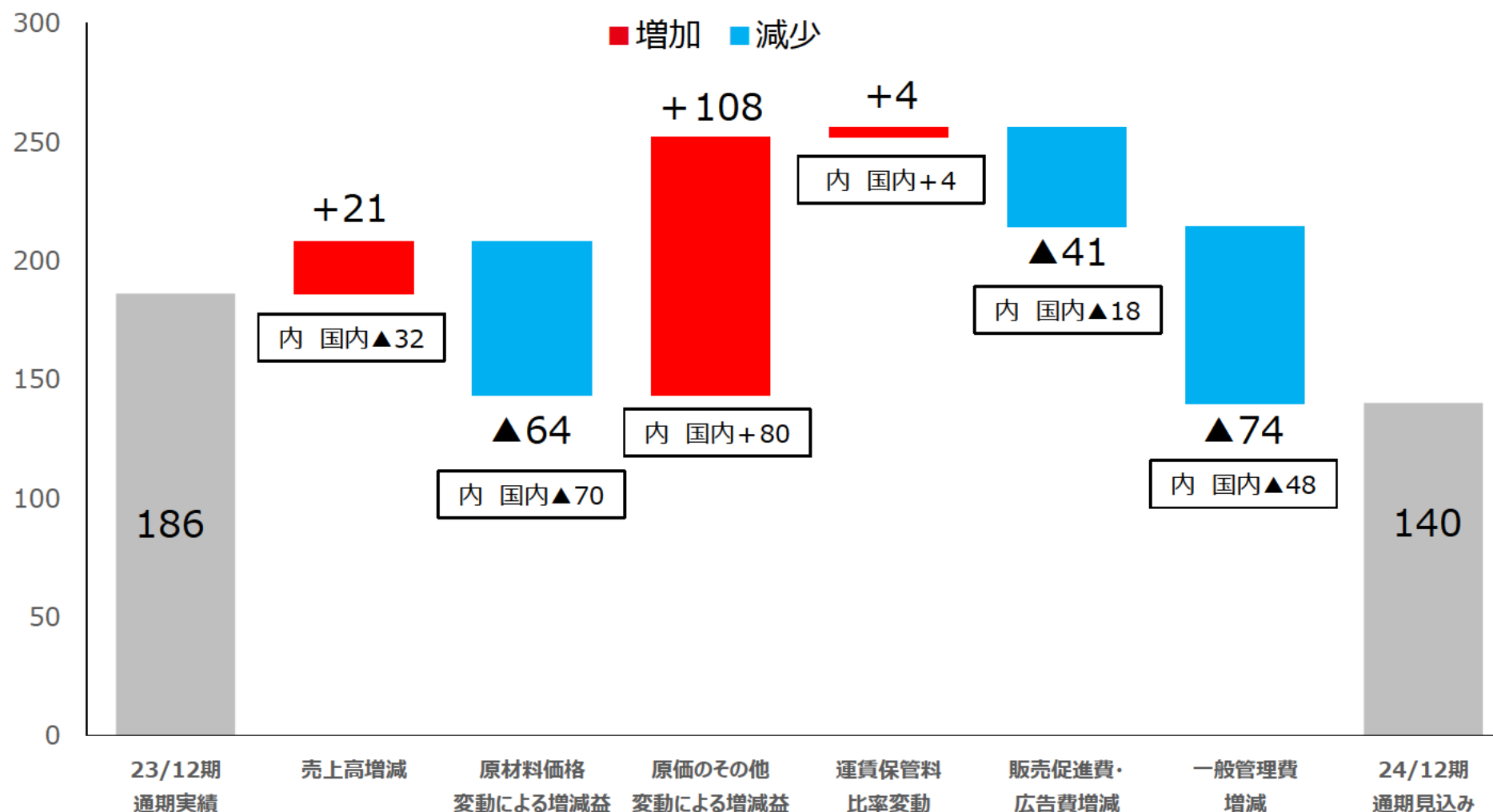
	23年12月期		24年12月期		
	通期実績	売上比	期初計画	通期見込み	売上比
売上高	3,325	100.0%	3,510	3,360	100.0%
売上原価	2,087	62.8%	2,158	2,053	61.1%
売上総利益	1,238	37.2%	1,352	1,307	38.9%
運賃保管料	261	7.9%	273	260	7.7%
販売促進費	108	3.3%	124	119	3.6%
広告費	127	3.8%	147	158	4.7%
人件費・厚生費	320	9.6%	333	341	10.1%
経費・償却費	233	7.0%	285	288	8.6%
販売費及び一般管理費計	1,052	31.6%	1,162	1,167	34.7%
営業利益	186	5.6%	190	140	4.2%

営業利益の増減要因



- 国内 : システム障害による売上減や原材料価格、一般管理費の増加により減益
- 海外 : 売上増や原価率の改善等により増益

(単位：億円)



セグメント別売上高の見込み



- 国内 : 乳業事業等でのチルド商品出荷停止により減収、対前年▲4.0%
- 海外 : 主に中国等で増収、対前年+19.4%

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
合計	3,325	3,510	3,360	+1.0%	▲4.3%
(国内)	2,613	2,700	2,510	▲4.0%	▲7.0%
健康・食品事業	504	535	485	▲4.0%	▲9.3%
乳業事業	696	725	600	▲13.9%	▲17.2%
栄養菓子事業	618	637	632	+2.1%	▲0.8%
食品原料事業	133	137	137	+2.6%	0%
国内その他事業	659	666	656	▲0.6%	▲1.5%
海外事業	712	810	850	+19.4%	+4.9%

<参考> 換算レート	23年12月期 通期実績	24年12月期 期初計画	24年12月期 通期見込み
中国 (CNY)	1CHY=19.80円	1CHY=19.50円	1CHY=21.51円
タイ (THB)	1THB=4.04円	1THB=4.00円	1THB=4.28円
米国 (USD)	1USD=140.54円	1USD=148.00円	1USD=156.35円

セグメント別営業利益の見込み



■ 国内 : チルド商品出荷停止の影響に加え、基幹システム更新に伴う減価償却費の負担増もあり、対前年▲84億円の減益

■ 海外 : 中国・米国・ASEANの利益増により、対前年+38億円の増益

(単位：億円)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比増減額	計画比増減額
合計	186	190	140	▲46	▲50
(国内)	144	120	60	▲84	▲60
健康・食品事業	20	24	8	▲12	▲16
乳業事業	5	6	▲33	▲38	▲39
栄養菓子事業	65	57	48	▲17	▲9
食品原料事業	24	20	20	▲3	0
国内その他事業	20	15	11	▲8	▲3
調整	8	▲4	4	▲4	+8
海外事業	41	70	80	+38	+10

海外事業-地域別の売上高、営業利益の見込み



◆中国

(単位：百万元)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	1,482	1,666	1,845	+24.5%	+10.7%
営業利益	143	176	225	+57.0%	+27.4%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	124	148	133	+6.9%	▲10.5%
営業利益	▲9	0	0	-%	-%

◆米国**

(単位：百万米ドル)

	23年12月期	24年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	114	124	104	▲8.1%	▲15.6%
営業利益	21	29	25	+20.8%	▲13.9%

Ⅲ. 中期経営計画の進捗について

■ パーパスにもとづくGlicoグループの取り組み

存在意義（パーパス）

すこやかな毎日、ゆたかな人生



ありたい会社の姿（ビジョン）

Glicoグループは人々の良質な暮らしのため、
高品質な素材を創意工夫することにより、
「おいしさと健康」を価値として提供し続けます

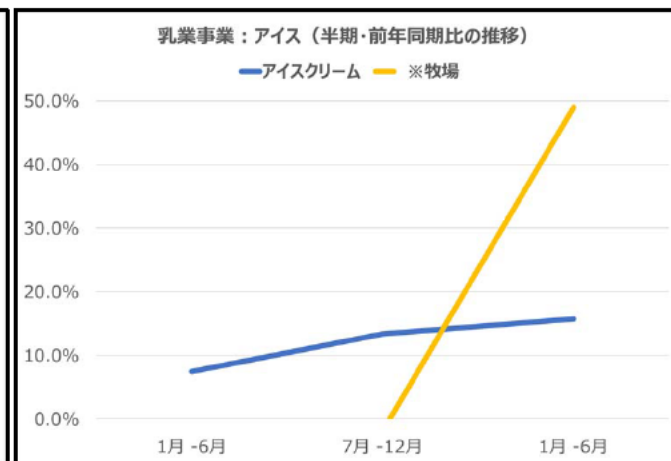
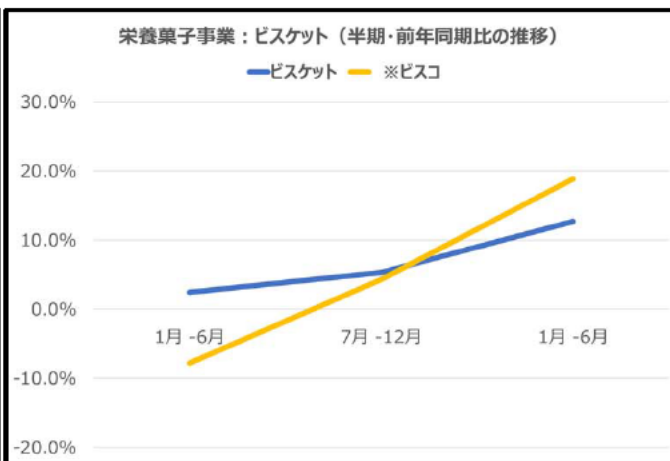
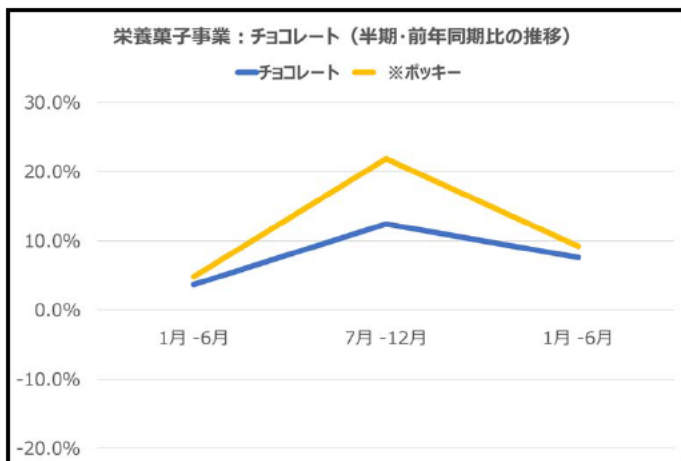


『習慣的に喫食いただけるような日常必需品』へ
進化することで、売上・利益の継続的な向上を図る

「価値向上」した新商品によるビジネスへの貢献



- 「素材由来のおいしさと健康」の価値を高めた新商品が、事業伸長を牽引
前年同期比：ポッキー+9.2%、ビスコ+18.9%、牧場しぼり+49.0%



ポッキーカカオ60%
販売開始：2023年9月



ビスコ<メープル> <いちご>
販売開始：2023年8月



牧場しぼり (リニューアル)
全国販売：2023年9月
※先行販売：2023年4月

習慣的に喫食いただくための取り組み (SUNAO拡充)

- おいしさと適正糖質 (※) を両立する「SUNAO」ブランドのラインナップを拡充
濃厚な味わいの冷凍生パスタを新発売、食事とスイーツで24種類に

※ 1食あたりの糖質量を食事20~40g、間食10g以下を目安に設計 (一般社団法人「食・楽・健康協会」)



「SUNAO」ブランド、24種類に拡充

目指す姿：すべての人が食べることを楽しみ、ココロもカラダもずっと健康でいられる社会

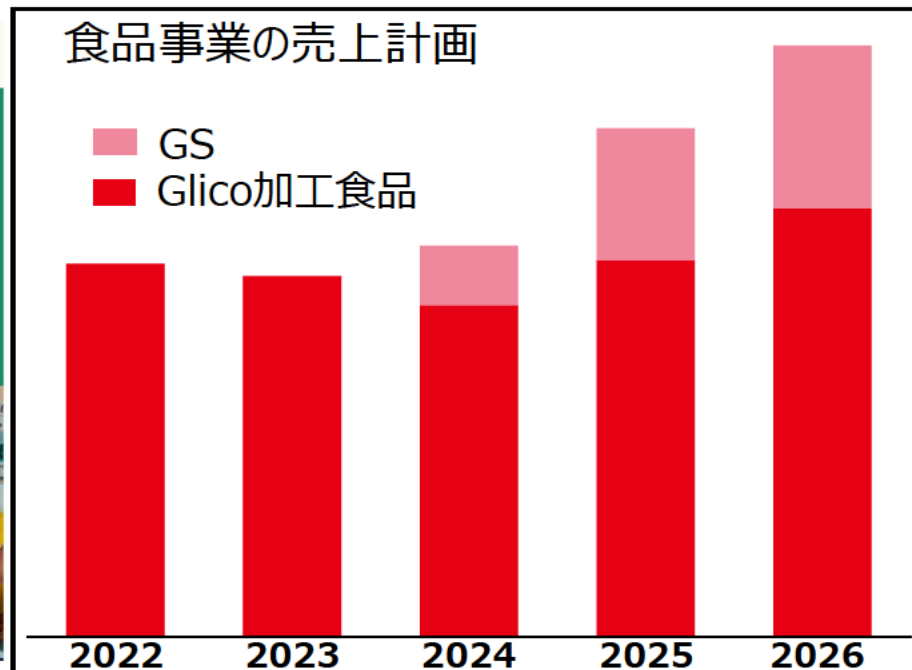
主食：パスタ 8種類、スイーツ：アイス 10種類、ビスケット 6種類

※地域限定で法人向けお弁当宅配サービスも展開

習慣的に喫食いただくための取り組み（GS社買収）



- 株式会社Greenspoonのグループ参画を通じて、日常的に喫食する主菜・副菜の分野で、より多くのお客様へ新たな価値を提供



食品分野の商品開発、デジタルマーケティングを強化

- ・Greenspoonのビジョン「自分を好きでいつづけられる人生を。」は、Glicoのパーパスと符合
- ・Greenspoonの「俊敏な商品開発と優れたデジタルマーケティング」と、Glicoの強みを掛け合わせることで、「おいしさと健康」の新たな価値を創出する

- Glicoならではの「おいしさと健康」の価値を高めた商品・事業を継続的に創出し、お客様の日々の生活になくてはならない企業として、中長期の成長を実現する
 - 長期経営構想に基づき、事業戦略・研究戦略・人財戦略を加速
 - 資本コストや株価を意識した経営を前提に、ROE 8%の達成を目指す

(現状分析 ※FY23E)

■ 資本収益性と市場評価

- ・ROE : 5.6%
- ・PBR : 1.0倍
- ・PER : 18.8倍

■ バランスシートの効率性

- ・政策保有株式 : 11.3%
- ・自己資本比率 : 66.3%

ROE 8%の達成を目指した次期中計の方向性

- (収益性 = 純利益/売上高) 価値創造による利益創出
 - ・注力領域の強化と収益性向上
 - ・成長投資 (研究開発、人財、デジタル) の加速
- (効率性 = 売上高/総資産) 資産効率化の推進
 - ・運転資本or非事業用資産の見直し
 - ・政策保有株式の縮減 (10%以下)
- (財務レバレッジ = 総資産/株主資本) 株主と共に成長
 - ・総還元性向の引き上げ

価値創造による利益創出によって
持続的なROE、PBRの向上を目指す

※ 補足資料

事業セグメントの分類 (売上高)

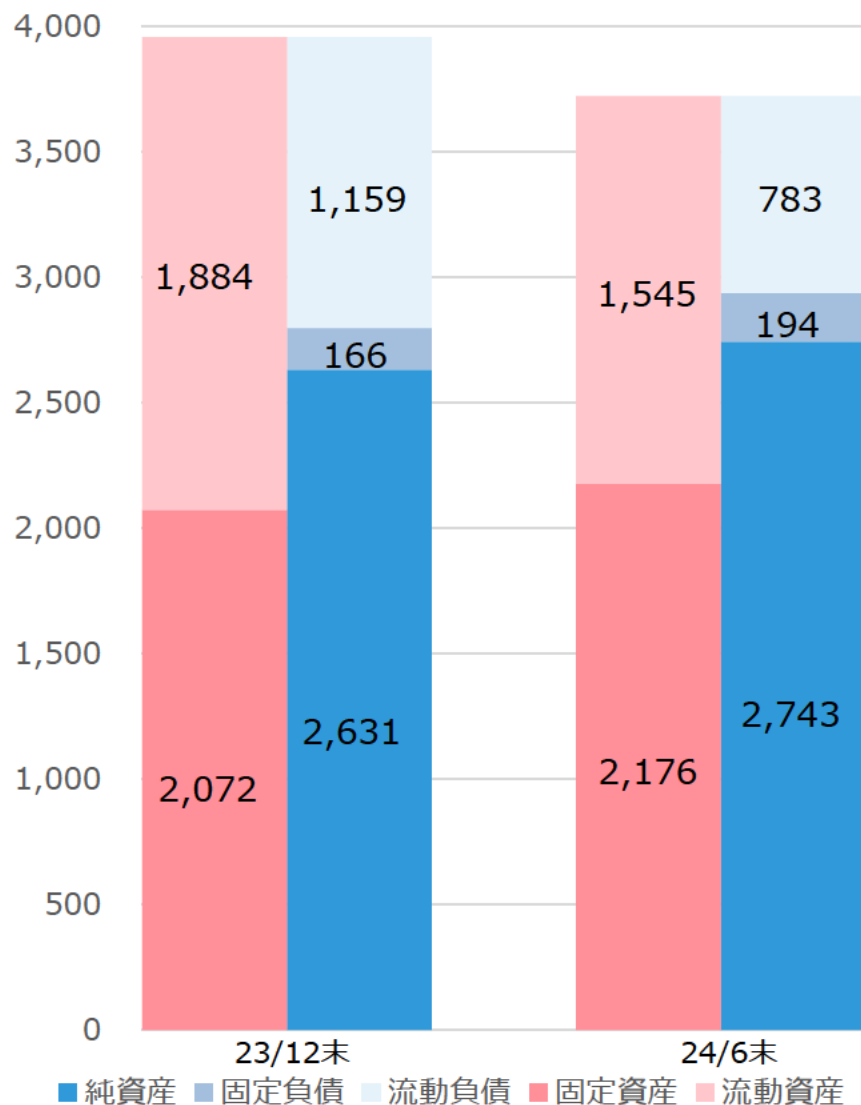


(単位：億円)

セグメント	分類	23年12月期				24年12月期					
		1月 - 3月	1月 - 6月	1月 - 9月	通期	1月 - 3月	1月 - 6月	通期 期初計画	通期 見込み	前年比	計画比
健康・食品 事業	健康	28	61	96	127	28	43	150	125	▲2.0%	▲16.7%
	アイスクリーム	26	81	176	209	29	94	220	225	+7.5%	+2.3%
	その他	39	76	119	168	41	68	165	135	▲19.7%	▲18.2%
	計	94	218	391	504	99	206	535	485	▲4.0%	▲9.3%
乳業事業	発酵乳	27	59	91	120	28	32	130	80	▲33.6%	▲38.5%
	アイスクリーム	49	127	227	286	56	147	300	310	+8.4%	+3.3%
	その他	65	136	215	290	68	92	295	210	▲27.7%	▲28.8%
	計	142	323	534	696	153	272	725	600	▲13.9%	▲17.2%
栄養菓子 事業	チョコレート	85	162	230	357	98	175	370	375	+4.8%	+1.4%
	ビスケット	43	95	147	202	52	107	210	222	+9.5%	+5.7%
	その他	12	27	44	58	13	16	57	35	▲39.9%	▲38.6%
	計	142	285	421	618	164	299	637	632	+2.1%	▲0.8%
食品原料事業		26	62	99	133	27	66	137	137	+2.6%	0%
国内その他事業		136	303	500	659	147	301	666	656	▲0.6%	▲1.5%
海外		167	337	517	712	196	394	810	850	+19.4%	+4.9%
合計		710	1,531	2,465	3,325	789	1,540	3,510	3,360	+1.0%	▲4.3%

貸借対照表の状況

(単位：億円)



資産の部 主要勘定科目		23年12月末	24年6月末	増減額
流動資産	現金及び預金	971	614	▲357
	受取手形及び売掛金	484	409	▲75
	有価証券	-	-	-
	棚卸資産	338	404	+66
	流動資産合計	1,884	1,545	▲339
固定資産	有形固定資産	1,114	1,118	+3
	無形固定資産	269	307	+38
	投資有価証券	468	532	+63
	固定資産合計	2,072	2,176	+104

負債の部・純資産の部 主要勘定科目		23年12月末	24年6月末	増減額
流動負債	支払手形及び買掛金	383	367	▲15
	短期・長期(1年以内)借入金	-	0	+0
	転換社債型新株予約権付社債	300	-	▲300
	流動負債合計	1,159	783	▲376
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	-	-	-
	長期借入金	-	1	+1
	固定負債合計	166	194	+28
純資産	株主資本	2,300	2,284	▲16
	純資産合計	2,631	2,743	+112

TTM為替レート



		米ドル USD	ユーロ EUR	タイバーツ THB	中国元 CNY	100韓国ウォン 100KRW	100インドネシアルピア 100IDR
<u>2021</u>	3/31	110.71	129.80	3.54	16.84	9.78	0.77
	6/30	110.58	131.58	3.44	17.11	9.78	0.77
	9/30	111.42	129.11	3.26	17.15	9.37	0.73
	12/31	115.02	130.51	3.43	18.06	9.73	0.81
<u>2022</u>	3/31	122.39	136.70	3.68	19.26	10.13	0.86
	6/30	136.68	142.67	3.85	20.38	10.52	0.92
	9/30	144.81	142.32	3.81	20.37	10.12	0.95
	12/31	132.70	141.47	3.80	19.01	10.55	0.85
<u>2023</u>	3/31	133.53	145.72	3.91	19.42	10.31	0.89
	6/30	144.99	157.60	4.07	19.94	11.00	0.97
	9/30	149.58	158.00	4.09	20.46	11.11	0.97
	12/31	141.83	157.12	4.13	19.93	11.05	0.92
<u>2024</u>	3/31	151.41	163.24	4.16	20.83	11.25	0.96
	6/30	161.07	172.33	4.36	22.04	11.64	0.99

【注意事項】

- * この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取り組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- * そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。
- * なお、当資料に記載する金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

「お問合せ先」

江崎グリコ株式会社 株式・IR部

E-mail : ir-division@glico.com